年間授業計画 新様式例

高等学校 令和４年度（１学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教 科： 芸術　　科 目： 音楽Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1組～7組：数藤）

使用教科書：（ 教育出版 ： 音楽Ⅰ Tutti+ ）

教科 芸術 の目標： 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに豊かな情操を養う。

【 知 識 及 び 技 能 】 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む

科目 音楽Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な要素を身につけ表現する知識及び技能を身につける。	音楽を形づくっている要素を知覚し、音楽のよさや美しさについて自ら味わい鑑賞し、表現する。	主体的・協働的に音楽の学習活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元 ・ヴォイスパーカッション ・日本歌曲 ・平易な合唱曲 ・楽典 ・日本音楽史 ・ギター 【知識及び技能】 音に対する自己のイメージを豊かにしたり、音楽を幅広く様々な視点からとらえようとする態度を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 楽器の奏法を身につけるとともに技能の習熟度に応じて楽曲演奏ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽に自ら積極的に関わり、音楽を幅広く様々な視点からとらえようとする態度を養う。	・指導事項 声を用いたアンサンブル活動を通して、仲間づくりをする。また、基礎的な楽典を学び音楽の能力を高める。 ※歌唱については、新型コロナウイルス感染防止のため実施できない可能性があります。 ・教材 教科書 ワークシート ギター 等	○	○		○	【知識・技能】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類と特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 音色・リズム・旋律・テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら音楽をどのようにつくるかについて表現意図を持っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	22
2学期	単元 ・世界の音楽について ・歌曲 ・楽典 ・アンサンブル ・ギター（コード） ・発表会 【知識及び技能】 世界の様々な音楽から音楽表現の多様性を捉えるとともに、音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考える。 【思考力、判断力、表現力等】 技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながら楽曲演奏ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の音楽表現に共感をしながら自己の音楽表現を工夫する手立てを学ぶ。	・指導事項 1学期の基礎学習を基に発展的な活動をする。 2学期の最後には、授業内発表会を行う。 ※歌唱については、新型コロナウイルス感染防止のため実施できない可能性があります。 ・教材 教科書 ワークシート 楽器 等	○	○	○	○	【知識・技能】 曲想と音楽の構造、文化的・歴史背景、生活や社会との関りを音楽の歴史的な流れから理解している。 【思考・判断・表現】 音色・リズム・旋律・テクスチュア・強弱・構成を知覚し、どのように演奏をするかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 時代や作曲者の違いによる音楽の特徴を感じ取りながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	30
3学期	単元 合唱 【知識及び技能】 自己のイメージをもって歌唱表現を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 混声合唱の響きを味わい、作曲者のコンセプトを理解しながら歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 楽曲の音楽表現を創意工夫しながら合唱活動の楽しさを味わう。	・指導事項 合唱コンクールに向けて取り組む ※歌唱については、新型コロナウイルス感染防止のため実施できない可能性があります。 ・教材 教科書 ワークシート キーボード 等	○	○		○	【知識・技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 音色・速度・旋律・テクスチュア・強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら近くしたことと感受したこととの関りについて考えるとともに、表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	18
											合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和４年度（１学年用） 教科　芸術　　科目 美術Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　　単位

対象学年組：第　１学年　　１組～７組

教科担当者：（1・4組：石本）　（７組：石本）　（2・5組：石本）　（3・6組：石本）

使用教科書：（ 高校美術 ）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】 芸術表現における基本的な概念や技能を理解するとともに，事象を深く観察したり，自由に想像し表現したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 芸術的知識を活用し、事象を自身の感覚に基づいて捉え、事象の本質を認識し考察する力，様々な表現技法を用いて自己を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自己表現の重要性を認識し積極的に制作に取り組もうとする態度，作品を通じ考察を深めたり，改善したりしようとする態度や創造性を養う。

科目　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術における基本的な概念や技能を理解するとともに，事象を深く観察したり，自由に想像し表現したりする技能を身に付けるようにする。	美術的知識を活用し、事象を自身の感覚に基づいて捉え、事象の本質を認識し考察する力，様々な表現技法を用いて自己を表現する力を養う。	自己表現の重要性を認識し積極的に制作に取り組もうとする態度，作品を通じ考察を深めたり，改善したりしようとする態度や創造性を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	・美術学習の意義を理解する　・描写の基礎と発想トレーニング　・色彩表現の発展	・形態の把握・鉛筆の削り方　・絵具の使用法　・色の三属性（色相・明度・彩度）　・混色の理解　・アクリル絵の具の使用法　・混色・着彩練習　・伝達のためのデザイン　・発想/アイディアスケッチ（資料収集）	○	○		○	【知識及び技能】 技法の効果を理解し、思い切った表現ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだことを発展させ、自分なりに工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現の可能性に関心をもち，発展的に考察し，挑戦する姿勢が見られる。	○	○	○	12
	・石膏の性質と特性を理解する ・工具の効果的な使い方を学ぶ ・抽象概念を理解し立体的表現を試みる	・立体感・量感・空間感の理解 ・アイディアスケッチ　・油土による試作　・工具用具の使用法　・作品を生徒同士で鑑賞し合う。	○			○	【知識及び技能】素材の特性を理解し、活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】抽象表現を理解し、自分なりの造形ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現の可能性に関心をもち，発展的に考察し，挑戦する姿勢が見られる。	○	○	○	10
2学期	・抽象絵画の歴史と発展を学び、　具象と組み合わせた絵画表現を試みる	・下絵/ 構成/着彩 ・描き込み　・作品を生徒同士で鑑賞し合う。	○			○	【知識及び技能】抽象表現の意味を理解し、自分なりに表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】抽象的表現を自分なりに発展させていくことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現の可能性に関心をもち，発展的に考察し，挑戦する姿勢が見られる。	○	○	○	16
	・立体造形/建築模型	・空間を意識したアイデアスケッチ ・工具用具の使用法　・組み立て作業	○			○	【知識及び技能】素材の特性を理解し、立体的に構成していくことができる。 【思考力、判断力、表現力等】構成を工夫し、思い切った造形ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現の可能性に関心をもち，発展的に考察し，挑戦する姿勢が見られる。	○	○	○	14
3学期	・立体造形/建築模型	・組み立て作業　・彩色・仕上げ.　・作品を生徒同士で鑑賞し合う	○			○	【知識及び技能】素材の特性を理解し、立体的に構成していくことができる。 【思考力、判断力、表現力等】構成を工夫し、思い切った造形ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現の可能性に関心をもち，発展的に考察し，挑戦する姿勢が見られる。	○	○	○	18
											合計
											70

年間授業計画 新様式例

雪谷　高等学校 令和４年度（１学年用） 教科　芸術　　科目 書道Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：書道Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　６組

教科担当者：（１組：熊谷倫子）（２組：青木豊）（３組：青木豊）（４組：熊谷倫子）（５組：青木豊）（６組：青木豊）

使用教科書：（ 光村図書　書Ⅰ　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解する。

【思考力、判断力、表現力等】古典、古筆等の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。

【学びに向かう力、人間性等】漢字の書体の変遷や仮名、漢字仮名交じり書の成立、その背景にある歴史や文化に関心を持ち、主体的に書道の幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・知識 ［表現］古典・古筆等の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ［鑑賞］線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 ・技能 古典・古筆等に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。	［表現］古典・古筆等の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ［鑑賞］古典・古筆等の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	［表現］主体的に書道の幅広い表現の学習活動に取り組む。 ［鑑賞］主体的に書道の幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	○単元　漢字の書 【知識及び技能】 ・知識 ［表現］古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 ［鑑賞］線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解させる。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ［表現］古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。 ［鑑賞］古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ［表現］主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 ［鑑賞］主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 ［楷書］ 孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 牛橛造像記 鄭羲下碑 上記古典を学び、様々な書体・書風、表現を学ばせる。 ・教材 光村図書　書Ⅰ		○		○	【知識及び技能】 ・知識 ［表現］古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ［鑑賞］線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ［表現］古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ［鑑賞］古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ［表現］主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ［鑑賞］主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ［評価方法］ 【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。 【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。	○	○	○	16
2学期	○単元　漢字の書 【知識及び技能】 ・知識 ［表現］古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ［鑑賞］線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ［表現］古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ［鑑賞］古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ［表現］主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ［鑑賞］主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・指導事項 ［行書］ 蘭亭序 争座位文稿 蜀素帖 風信帖 ［草書］ 真草千字文 ［隷書］ 曹全碑 ［篆書］ 泰山刻石 上記古典を学び、様々な書体・書風、表現を学ばせる。 ［創作］ これまで学んだ書体・書風を生かし、生徒各自が選んだ漢文(熟語等も含む)を作品化させる。また様々な創作例を鑑賞し、作品に応用させる。 ・教材 光村図書　書Ⅰ		○		○	【知識及び技能】 ・知識 ［表現］古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ［鑑賞］線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ［表現］古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ［鑑賞］古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ［表現］主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ［鑑賞］主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ［評価方法］ 【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。 【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。 【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極	○	○	○	20

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
2学期	○単元　仮名の書 【知識及び技能】 ・知識 ［表現］線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解させる。 ［鑑賞］線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解させる。 ・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ［表現］仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。 ［鑑賞］仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ［表現］主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 ［鑑賞］主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 仮名の成立と種類についての説明。時代背景等、特徴的な筆遣いを理解させる。仮名の基本的な筆遣い（横の線、縦の線、転折、円運動、結びなど）を指導。 平仮名・変体仮名の指導。 ・教材 光村図書　書Ⅰ			○	○	【知識及び技能】 ・知識 ［表現］線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解している。 ［鑑賞］線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ［表現］仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ［鑑賞］仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ［表現］主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ［鑑賞］主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ［評価方法］ 【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。 【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。 【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極	○	○	○	6
3学期	○単元　仮名の書 【知識及び技能】 ・知識 ［表現］線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解させる。 ［鑑賞］線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解させる。 ・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ［表現］仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。 ［鑑賞］仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ［表現］主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 ［鑑賞］主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 蓬莱切 高野切第三種 継色紙 上記古典を学び、様々な書風、表現を学ばせる。 ［創作］ これまで学んだ仮名の書風を生かし、生徒各自が選んだ和歌を作品化させる。また様々な創作例を鑑賞し、作品に応用させる。 ・教材 光村図書　書Ⅰ			○	○	【知識及び技能】 ・知識 ［表現］線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解している。 ［鑑賞］線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ［表現］仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ［鑑賞］仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ［表現］主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ［鑑賞］主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ［評価方法］ 【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。 【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。 【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極	○	○	○	14
	○単元　漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 ・知識 ［表現］用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 ［鑑賞］線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の成立について理解させる。 ・技能 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ［表現］漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を活かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫させる。 ［鑑賞］創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ［表現］主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 ［鑑賞］主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 漢字仮名交じりの書の特徴、歴史について指導。漢字と仮名の調和や自由な紙面構成などの表現の特徴を理解させる。また用具・用材の違いによる表現の違いも理解させる。 創作を通して、作品制作の楽しさ、難しさ、表現の多様さを感じさせる。 心に響く言葉、好きな言葉を素材に作品制作させる。 作品鑑賞会により、生徒相互の意見を述べさせ、評価させる。	○			○	【知識及び技能】 ・知識 ［表現］用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ［鑑賞］線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の成立について理解している。 ・技能 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ［表現］漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を活かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 ［鑑賞］創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ［表現］主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ［鑑賞］主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。［評価方法］ 【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。 【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。 【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極的な参加から判断する。	○	○	○	6 合計 62

令和4年度　年間指導計画

東京都立雪谷高等学校

教科・科目	アンサンブル （必修・必選・自選）	対象学年	3	単位数	2	予定授業時間	70
教科書		担当者	数藤由香里				
副教材							

目標	音楽活動を通して生涯にわたり芸術を愛好する心情を育て、芸術の諸能力を伸ばす。

学期	時数	指導項目	指導内容
1学期	24	・演奏会企画 ・合奏練習 ・授業内発表会 ・音楽理論 ※新型コロナウイルス感染防止のため訪問演奏会や歌唱活動を実施できない可能性があります。	基礎的な演奏技術を身に付け、演奏会を企画し発表を行う。
2学期	26	・演奏会企画 ・合奏練習 ・保育園での演奏会 ・音楽理論 ※新型コロナウイルス感染防止のため訪問演奏会や歌唱活動を実施できない可能性があります。	1学期の発表会の振り返りを行う。クリスマスコンサートを企画し、保育園にて発表を行う。
3学期	20	・日本の伝統音楽	箏演奏を行い、授業内発表会を行う。

評価の観点と方法	平常点、発表の様子を総合的に判断する。